

おおぞら 議会だより

CONTENTS

9月定例会を開催	2
議員5名が一般質問	4
①森賀議員 消防団員のなり手不足とその募集の方策について ほか	
②大泉議員 ふるさと納税について	
③鈴木議員 未来につながる積極的少子化対策を	
④三條議員 国、道から土地、建物等払い下げの実態等について ほか	
⑤上地議員 災害に強いまちづくりの取り組みについて	
決算審査特別委員会	12
視察調査を実施	14


No.70
OZORA
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和5年(2023年)11月30日


大空に
人花心
育まると



10月15日に大鵬杯相撲大会が4年ぶりに開催され、町内外から出場者が集まり、幼児の部から大人の部まで白熱した取組が行われました。

一般会計2億4,209万円追加補正

総額94億6,432万円に

令和5年
9月定例会
9月12日～13日

大空町議会9月定例会は、令和5年度一般会計などの補正予算議案などを審議しました。

算議案、規約の変更、条例改正議案、議会側

大雨の被害を受けた芝桜公園大駐車場、町道の復旧工事費用を補正

補正予算
令和5年度一般会計のほか、4特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

- 令和5年度補正予算（歳出）の主な内訳**
- ◆起業化支援事業補助金（300万円）
 - ◆麦・大豆生産技術向上事業補助金（1億794万円）
 - ◆合併処理浄化槽設置整備事業（314万円）
 - ◆東藻琴芝桜公園大駐車場排水設備法面復旧工事（1,650万円）
 - ◆町道維持補修工事（1,300万円）
 - ◆エネルギー価格・物価高騰対策福祉施設等支援金（475万円）

起業化支援事業補助金
大泉議員

Q 補助金の内容について伺う。

課長 当初予算300万円について、既に本年度分として3件、300万円の交付決定をしています。今後、3件ほど申請される予定の方がいますので、事業費の2分の1、100万円限度、3件分300万円の増額補正となります。

業 麦・大豆生産技術向上事業
川村議員

Q 事業内容および予算の内訳について伺う。

課長 輸入依存度の高い麦、大豆の安定供給に対するニーズが高まっており、麦、大豆の生産性向上のために作付の団地化推進や営農技術の導入、生産性拡大に向け

有害鳥獣駆除推進事業
三條議員

Q 町内に何人の免許取得者がいるのか、どのような出動要請をしているのか伺う。

課長 狩猟免許取得等の支援補助金は、狩猟免許を取得する際に、猟友会に加入をしていただくことを前提に補助を支給しています。補助率は、2分の1を上限とし、令和2年度から令和4年度までは各1名の方が取得し、猟友会に入っていない方が改めて取得するということ申し入れがあります。

課長 当初予算で5件分計上していますが、今現在5件の申請があり、当初予算が埋まっている状況です。さらに4件の申請見込みとなっています。

出動要請について、猟友会にお願いをし、支援いただいているものは、鹿の一斉駆除、熊の被害防止のパトロール実施、箱罠にかかった熊の駆除等の活動に対し、助成をしています。

Q 施設管理原材料50万円の補正について伺う。
東藻琴相撲場管理費
三條議員



大雨の被害を受けた町道

建設課 7月13日の大雨により災害が発生して、町道で7路線9カ所の復旧工事が必要な箇所が発生しています。

Q 町道維持補修工事の概要について伺う。
町道維持補修事業
三條議員

三つ目は、橋の下の方の遊歩道と川の境界が崩壊したことから、土砂を入れ整備した後に支柱を再生したいと思います。



綺麗になった東藻琴相撲場の土俵

生涯学習 東藻琴相撲場の土俵にカビが繁殖し変色している状況を改善するために、必要な土の原材料費50万円を計上しています。

規約の変更 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について、可決しました。

条例の制定・一部改正・廃止 大空町公営企業の設置等に関する条例など2条例の制定、大空町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例など3条例の一部改正、大空町簡易水道設置条例など2条例の廃止について、可決しました。

要望意見書 「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書」「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書」「肥料、燃油などの生産資材等高騰対策強化を求める要望意見書」について可決しました。

教育委員会の報告 令和4年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検、評価について、報告がありました。

健全化判断 令和4年度大空町の健全化判断比率及び資金不足比率について、報告がありました。

例月出納検査報告 5月から7月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。

議会の傍聴はお気軽に!

◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

12月定例会は、**12月14日(木)**から開かれる予定です。



～ロール転がしどってん酷に出場～
4年ぶりに開催されたふるさとまつりを盛り上げるため、大空町議会チームとしてロール転がしどってん酷に出場しました。予選敗退となりましたが、パフォーマンス賞を受賞するなど、会場を盛り上げました。



大雨の被害を受けた芝桜公園（法面）

Q 大駐車場の排水設備法面復旧工事の内訳について伺う。
三條議員

総合 7月13日の大雨に被害箇所について早急な復旧対応が必要となりました。工事の概要は、大駐車場から公園に向かう遊歩道の法面の崩壊、土砂流出箇所の復旧工事として崩壊した法面の土砂を除去し、新たな土砂を入れて整理した後に法面を成型して芝を張り付けます。もう一つは、大駐車場から法面に排水が大量に流出しない様に盛土をします。

東藻琴芝桜公園管理運営費

上下水道事業施設について

上下水道の維持管理の計画はあるのか

町長▶ 将来にわたり維持していかなければならない大切なライフライン

町長 上下水道管の耐用年数は、水道管については地方公営企業法施行規則によって40年、下水道管については国土交通省令において50年とされています。ほとんどの場合50年以上の使用が可能ですが、大空町として明確に耐用年数は定めていませんが、60年を目安として考えており、現状では60年を越える管はない状況です。

維持管理及び老朽化対策については、職員による日常点検の他、機械や電気施設については専門業者の点検委託による機器や設備の状況を把握し更新や修繕を実施し対応

問 大空町の上下水道の管の対応年数について、維持管理及び老朽化対策について、厚生労働省で過疎地へのタンク車による運搬送水の指針がまとめられたが、大空町で検討がなされている地区があるのか、終末処理場に関し災害時等における網走市との対応や取り決めについて、町長の見解を伺う。

運搬送水ですが、大空町においては、女満別地区では低台配水池、湖南配水池、大成配水池、東部高台配水池が、東藻琴地区では福富配水池、東洋配水池、中区配水池が検討の対象となると考えています。将来的にこれらの施設からの配水量が相当少なくなれば運搬送水の検討も必要となってくるかと考えていますが、現状としてはそのような状況にはないと判断しています。

町長 終末処理場の災害時における網走市との取り決めについては、大空町の汚水は女満別地区が網走市呼人地区へ、東藻琴地区が網走市藻琴地区へ、それぞれポンプで圧送し網走市内の下水道管を通って、終末処理場に送られ処理されています。このため、網走市側で下水道施設にトラブルが発生した場合など緊急時には、網走市より汚水の

問 上下水道管の老朽化対策維持管理の計画はあるのか。

町長 下水道について、ストックマネジメント計画を策定し、計画的に機械や電気設備などの更新を実施しています。本年度この計画の見直しに向けて施設の状態を調査しています。

町長 災害時の対応では網走市側からの要請で、大空町側の汚水の圧送を停止する場合の他、当町の施設の被災により汚水の圧送が出来ないということが考えられます。この場合どの程度の期間と時間、圧送停止出来るか、どの業者に修繕等の対応を依頼するかなど、この対応計画を取りまとめた下水道BCP、いわゆる事業継続計画を策定しています。



昭和浄水場

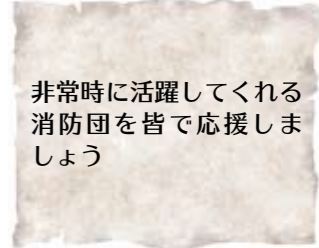
消防団員のなり手不足とその募集の方策について



森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(14分47秒から)



非常時に活躍してくれる消防団を皆で応援しましょう

消防団員の定数割れは憂慮される問題

町長▶ 地域が消防団を応援する気運を醸成していく

問 大空町女満別、東藻琴両地区の消防団は、近年団員の定数割れが続いており大変憂慮される問題だと考えます。魅力ある消防団活動を目指して、団員の加入促進に際し団員の報酬の改定や消防団活動に必要な費用増加と、町としての取り組みが必要ではないか。

町長 消防団員は普段はそれぞれが仕事に就き、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛護の精神に基づき、消防活動を行う権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員という身分です。女満別消防団は、条例定数80人に対して実人員60人で充足率は75%、東藻琴消防団は、条例定数72人に対して実人員60人で充足率は83%という状況です。条例定数は地域の消防防災力を考慮して設定している数値であること

問 例えば町としてそらつきーポイント

町長 地域が消防団を応援する気運を醸成してゆくことに町としても取り組んでいかなければならないと考えます。ただ、そらつきーポイントを付与するとか、そういった独自の支援策が消防団の加入促進につながるものではないと思っております。一番大事なこととは、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛というものを理解することが一番大切で、消防団加入のきっかけになると思い

現在、役場職員5名が職務専念義務の免除の手法を使って女満別消防団に加入をしています。職員が地元出身であれば、地域のことはある程度理解していると思えますが、地元以外のところから、大空町の職員になって地域を知るといふきっかけに消防団活動がなると考えていますので町としてバックアップしていきたいです。



消防演習を行う消防団員



未来につながる 積極的少子化対策を

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間6分59秒から)

町民の皆さんと情報を共有して、未来につながる「子育て世代にやさしい」まちづくりを進めたいものです。

町長 「せいかつあんしんガイドブック」を発行し、母子の健康、予防接種、子育て支援等の情報を提供しており、さらに子育て世代にターゲットを絞って情報提供できる子育て支援アプリ「そらべび」を運用して情報提供しています。これまで子育て世代向けの情報に特化したガイドブックは、ありませんでしたので、福祉分野以外の子育て世代応援情報も網羅し、ホームページへの掲載だけでなく、紙媒体として妊婦の面談機会などお渡しすることも検討します。

問 大空町の様々な少子化対策を一覧としてまとめるなど、魅力と関心を高める情報提供を強化してはどうか。

子どもを産み育てやすい地域づくりに関する広報の充実と工夫を 町長▶子育て世代向けのガイドブックを充実

問 出生数の現状を鑑みると、未来に向けた少子化対策として、大空町独自の新たな経済的支援策を検討してはどうか。

町長 大空町の出生数は、コロナ前の令和元年の48人と比較すると減少しています。出産祝い金支給事業は、令和元年度で廃止し、産後ケア事業や妊婦健康診査事業に切り替えました。令和4年度からは、不妊治療が保険適用になったことを受け、新たな不妊治療費助成事業の実施や国が創設した出産・子育て応援交付金事業による経済的支援と子育てに寄り添う相談体制を充実しています。今後も国や北海道の動向を注視して効果的な取り組みを進めます。

問 子育て環境の充実策として、定住促進事業の住宅新築助成における子育て世代への助成金増額、さらに子育て世帯へ配慮した宅地分譲等も転入子育て世代の定着を未来への投資と考え検討してはどうか。

町長 大空町としては一時的な現金支給ではなく、子育て世代を継続的に社会で支えるということにシフトさせていきます。また、若者のパートナー対策や妊産婦への支援に加え、子育て世代の支援、保育・教育の充実、観光や産業振興と雇用の拡大など、地域経済の好循環と地域の活性化につながる施策を一体的かつ総合的に推進します。子育て世代向け宅地分譲については、未利用町有地の有効活用を検討し、

問 出生数の減少は、今後、認定こども園の運営、さらには、小・中学校の学級維持などにも影響する心配があり、早目早目の対策が必要かと思うが。

町長 近年若い職員では、育児参加への意識が高まり、男性職員の育児休業取得率が向上しています。価値観やライフスタイルが多様化する中、今後も男性職員と女性職員も含めて、積極的に育児休業が取る職場環境づくりに推奨していきます。また、町が関係する法人・団体へも職場環境改善策の一環として情報提供していきます。

問 男性町職員の子育て参加環境の充実、育児休業取得率向上への取り組みと町が関係する財団、福祉法人職員への情報提供の現状と今後の対応は。

町長 少子化対策は、子育ての楽しさ、それを夫婦ともに理解していただけることが一番だと思います。そういった気持ちになっていただける環境づくりや第2子目、第3子目の出産を応援できる取り組みも検討していきます。



入園式に出席している保護者



運動会に参加するお父さん



ふるさと納税について

大泉 知功 議員



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(39分33秒から)

ふるさと納税の仕組みや、変更点、わかっていたようでわからなかった深いところまで一般質問してみました。

町長 ふるさと納税は、もともと自分の生まれ育ったふるさとや、

問 大空町へ寄附していただいた金額、大空町へ本来入るべきだった金額について伺う。

町長 令和4年は6,585件のお申し込みがあり、1億4,461万8,000円のご寄附をいただいています。この場をお借りして、改めてご寄附をいただきました皆様には感謝を申し上げます。波及効果ですが、返礼品である地元特産品を通じた町のPR、認定こども園や小学校、中学校、高校の教材や備品の購入、ひまわり作付事業を展開したりと魅力的な町作りのために活用しています。

問 使途の項目を、例えば町内を盛り上げるためのイベントなどに使える様な項目を増や

町長 大空町へ寄附していただいた金額、大空町へ本来入るべきだった金額について伺う。

波及効果ですが、返礼品である地元特産品を通じた町のPR、認定こども園や小学校、中学校、高校の教材や備品の購入、ひまわり作付事業を展開したりと魅力的な町作りのために活用しています。

問 旅先納税というのは、どこかの町に旅行に行くときに、前もって携帯電話

町長 今の大空町の中でふるさと納税の使途は五つ定めています。未来を担う子どもたちを育む事業、高齢者が健康で生き生きと暮らす事業、魅力ある観光地づくりに関する事業、その他、特に指定しないの5項目です。

旅先納税というのは、どこかの町に旅行に行くときに、前もって携帯電話

問 旅先納税については、地元の商店街の協力があれば行えなくもないかなというところもあります。体験型ふるさと納税は今うちの町内の中でそういった取り組みが出来てい

町長 旅先納税については、地元の商店街の協力があれば行えなくもないかなというところもあります。

話等でQRコードを読み込んで、例えば1万円寄附しますとなったときに、3,000円分のクーポンが携帯に送られてきて、それを行った先のお店で使えるということです。なかなかおもしろそうな仕組みであると思うところがあります。



大空町で人気の返礼品

なくても、今年度、大空町体験型観光誘致促進実行委員会を立ち上げて、今後町内でこういった体験型観光ができるか、これから検討していきます。そういったところで仕組みとして出来上がった体験プログラムを参加いただくということも、今は出来るかと思いますが、この度、こういった新しい制度、これからのふるさと納税の活用策として検討していきます。

新たな取り組みと、今後の課題について 町長▶旅先納税、体験型ふるさと納税等、活用策として検討

問 大空町のふるさと納税の実績と波及効果について伺う。

町長 令和4年は6,585件のお申し込みがあり、1億4,461万8,000円のご寄附をいただいています。

旅先納税については、地元の商店街の協力があれば行えなくもないかなというところもあります。

旅先納税については、地元の商店街の協力があれば行えなくもないかなというところもあります。

旅先納税については、地元の商店街の協力があれば行えなくもないかなというところもあります。

温暖化や物価高騰による住民生活・経済への影響等について

住民の健康と将来を見据えた経済対策をしっかりと

町長▶住民の健康を守るための支援、農業等持続的に経営出来るよう取り組む

町長 5月1日から9月1日までの期間で、30度以上の日が27日あり、熱中症により救急搬送された人は11名、そのうち高齢者で自宅内3名、受診2名おられます。高齢者や障害者の方々の把握状況は地域包括支援センターなどにより、暑さによる体調変化、自宅の換気や温度管理などについて声かけを行っています。

問 住民生活において、これだけ高温が続くと、熱中症等で体調を崩される等、健康が危惧されます。農業、漁業においては、寒冷地向きとされていた作物等が温暖化による影響で栽培出来なくなる等、危惧されます。また、湖は汽水湖としてのバランス等に影響が出ていると思われるし、商工業については物価高、原材料の高騰により、買い控えるなどの影響が懸念されます。大空町として、将来に向けてどう対応すべきなのか、現状と課題、今後について伺う。

問 高齢者、障がい者で、住環境の厳しい方もおられます。暑さ

農業は、野菜が腐って収量が減る等さまざまに作物で影響が出ていると聞いています。北海道総合研究所の研究報告として、地球温暖化による北海道農業に与える影響を推測しており、高温でも収量や品質が低下しない品種の開発や、播種、定植時期の変更などが示されています。町の主要な作物である、小麦、馬鈴薯、てん菜、豆類につきましては、今後、温暖化の影響も懸念されるので、関係機関と連携しながら対応が必要で、水産については、湖の環境変化に対応するため、関係機関と連携し、水産におけるさまざまな要因に対して適宜調査対策を実施し、安定的な水産資源確保に努めます。商工業については、今後ともさまざまな要因による景気動向に注視し、場合によっては必要な支援をするよう検討したいと考えています。

町長 近年、暑さで健康を害してしまつた。こう考えたときに、クーラーか、エアコン等を設置するのが、必要な時代になってきています。これから、クーラー等を各家庭で備える時の助成等の支援策を予算の中で、

問 既存の教員住宅の実態について伺う。危惧したのは施設、住宅等、用途指定があるが故に、10年間何も使わないで朽ち果てて行くのはいただけないし、既存の空いている施設は有効に活用する、これは原則だと思ひます。使つ見込みがない物件は用途を変更して活用するか、売り払いして既存の施設の維持管理に充てる等検討すべきと思うが。

問 過去に町が先導して導入した作物があり、種をまき、環境を整える等、周りには大空町、研究機関もあり、

町長 町の農業を守ることに、この地域を守っていくことに繋がると思ひます。この大空町の農業がこれからも持続的に経営できるよう、町両JA等関係機関と一緒に取り組んでいきます。



農作物の収穫作業

町長 町の農業を守ることに、この地域を守っていくことに繋がると思ひます。この大空町の農業がこれからも持続的に経営できるよう、町両JA等関係機関と一緒に取り組んでいきます。



国、道から土地、建物等払い下げの実態等について

三條 幸夫 議員



三條議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(3時間18分45秒から)

今年は例年になく猛暑が続き、健康、農作物へ影響が懸念されています。来年以降も異常気象は続くともいわれています。しっかりと対策をたて、課題を克服しましょう。

教員 施設としては、令和3年4月1日付けで北海道から譲与を受けた旧女満別高等学校の校舎、鉄筋コンクリート造3階建て1棟のほか、

町長 国、道からの土地、建物等の払い下げは、大空町となつてから30件です。土地は、道路や公共施設の整備などに伴い、必要となる用地の譲与を受けたものです。建物は、旧女満別高校に

問 国、道からの用途廃止に伴い、土地、建物等の払い下げを受けていると思うが、現状と今後について、特に町、道の職員住宅等があり、空き家となつた後の管理、有効活用について検討されているかどうか伺う。

教員 女満別地区31戸、琴地区23戸で、空室は4戸です。現状では余剰とする教員住宅は無いと認識しています。今後は、町内の児童生徒が減少し、教職員も減少することが想定されますが、一方で教育に関する職員が増えつており、施設の有効活用を努めます。

町長 国、道からの土地、建物等の払い下げは、大空町となつてから30件です。土地は、道路や公共施設の整備などに伴い、必要となる用地の譲与を受けたものです。建物は、旧女満別高校に

問 既存の教員住宅の実態について伺う。危惧したのは施設、住宅等、用途指定があるが故に、10年間何も使わないで朽ち果てて行くのはいただけないし、既存の空いている施設は有効に活用する、これは原則だと思ひます。使つ見込みがない物件は用途を変更して活用するか、売り払いして既存の施設の維持管理に充てる等検討すべきと思うが。

町長 近年、暑さで健康を害してしまつた。こう考えたときに、クーラーか、エアコン等を設置するのが、必要な時代になってきています。これから、クーラー等を各家庭で備える時の助成等の支援策を予算の中で、

町長 町の農業を守ることに、この地域を守っていくことに繋がると思ひます。この大空町の農業がこれからも持続的に経営できるよう、町両JA等関係機関と一緒に取り組んでいきます。

町長 町の農業を守ることに、この地域を守っていくことに繋がると思ひます。この大空町の農業がこれからも持続的に経営できるよう、町両JA等関係機関と一緒に取り組んでいきます。



既存の教員住宅



北海道から譲与を受けた教員住宅

空いている住宅等用途廃止し、有効に活用すべき

町長▶使わない公営住宅などは多目的での用途を考える

町長 既存の公営住宅等使わないのであれば多目的で用途を考える。それでも使い道がないのであれば、宅地等として分譲する等の考え方もできるかと思ひます。

親しまれる議会だよりを目指して

～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりにより町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和5年10月23日に開催しました。

募集していました議会広報モニターについて、高野 慶太さん、伊藤 雅弘さん、國府 直輝さん、北井 ひとみさん、田口 忍さんの5名に決定しました。2年間よろしくお願ひします。

議会広報モニターの皆様からいただきました主なご意見は次のとおりです。

- 質問の回答のより重要な部分に色を付けて強調してみてもどうか。
- 金額の数字が書いてあるが、どの部分の記事と繋がっているかわかりづらい。
- 議員の似顔絵をもっと他にも使ってみてもどうか。
- 町民の声に、許可を得て団体の問い合わせ先を掲載した方が良いのでは。












～議員と懇談しませんか～

大空町議会では、より多くの町民から意見を聴き、町民と議会の関係をより近づけられるよう、議会報告会のほか、団体や任意のグループ、次世代の担い手などを対象とした懇談会の開催に取り組んでいます。

議会から各団体等へ、各団体等から議会へ懇談会開催の申込みを行うことができ、議会から参加する議員は3班編成とし、右の似顔絵のとおりです。

各団体等で議員と懇談したいなど希望がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL (0152) 74-2111

1 班			
			
原本議長	松岡議員	森賀議員	大泉議員
2 班			
			
齋藤副議長	三條議員	岩原議員	川村議員
3 班			
			
上地議員	後藤議員	鈴木議員	福田議員

災害に強いまちづくりについて

う え ち ふ み た か
上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間37分40秒から)

酷暑から一転、寒くなりましたね。冬に備えて灯油を入れましたが、価格が高くて、懐も寒い冬になりそうです...

公共施設の熱中症対策について

町長 ◆今後計画的に公共施設のエアコン等の整備を検討したい

問 北海道胆振東部地震が発生してからの5年の節目を迎えます。この地震は北海道全域に大規模な停電を起こしました。近年では、全国各地で自然災害が多発しており、いつどこで大きな災害が発生するかわからない現状となっております。これまで実施した防災訓練、災害に備えた備蓄、備品、資機材等の現状、自主防災組織の設立状況、防災士の育成、近隣市町との広域防災訓練の実施について伺う。

町長 災害備蓄品、備品、資機材の現状について、町では令和3年度に女満別B&G海洋センターの防災機能が拡充され、防災倉庫が新設され、防災備品が一層充実しました。災害発生時に備蓄が不足する場合には、道、町が民間事業者等々締結している災害時の物資供給等の協定を活用していただきます。課題は指定避難所単位の備蓄保管場所がなく、町の被害想定と避難所ごとの備蓄数量の見直しを立てて計画的な備蓄を推進しなければなりません。現在、4自治会が自主防災組織が立ち上がっています。課題として、高齢化や人口減少による地域コミュニティの衰退が深刻になり、自治会活動自体が困難な状況を迎えることが懸念されています。防災士の育成について、町では現在7名の方が認定を受けています。近隣市町との広域防災訓練の実施について、現在東オホーツク定住自立

圏1市4町、美幌地方自衛隊協力会の2市8町、美幌駐屯地、網走、北見、近隣8町です。網走川減災対策協議会、網走開発建設部、網走川流域の1市3町関係機関で広域の枠組みがあり、防災担当者や関係構築というものは出ています。ただし、広域的な防災訓練については調整すべき事項が多岐にわたります。現状のところ実現に至っていません。

参事 防災訓練の内容について、令和4年12月3日にコロナ禍である事を踏まえて、感染症対策を意識した避難所開設運営、シナリオに沿って災害対策本部や関係機関との連携を確認する訓練を実施しました。12月15日には、教育委員会と連携し、女満別中学校の全校生徒、教師を対象に1日防災学校を実施しました。本年は自治

会の依頼を受けて、防災マップの見方等を説明させていただきました。6月13日には、教育委員会と連携し、東藻琴小学校の全校児童、教師を対象にした1日防災学校を実施しました。

問 8月に熱中症警戒アラートが発表され、美幌町は猛暑の避難場所を設置されました。我が町でも今後、平常時や災害時にも使える移動式エアコン等も検討してはどうか。

町長 町でエアコンを設置している施設が少なく、役場庁舎、本庁舎で来年にかけてエアコンを設置したときに、町民の方に開放することはできるかと思いますが、全ての公共施設にエアコン設置はできないにしても、町民の方が避難されるのが想定されるような施設をピックアップして計画的にエアコン整備も考えています。また、災害時だけではなく、通常の暑いときにも快適にさまざまな活動

問 自主防災組織については、少子高齢化によって人数が少ない自治会もあります。複数の自治会で協力して組織をつくり、地区によって分けたら保管場所等の課題も解決するのではないかと。

町長 複数自治体が共同して自主防災組織を設立し、備蓄は必要な分を保管して適宜それを融通し合うというのは考えられるので、今後の検討課題としていきたいと思っております。



東藻琴小学校1日防災学校



決算審査特別委員会を開催

～令和4年度各会計の事業、取組みを審査～

令和4年度の一般会計、特別会計を合算した決算額は、歳入147億3,766万円、歳出144億554万円で、形式収支は3億3,212万円の黒字となりました。

決算審査特別委員会では、予算執行及び事業運営の状況を審議し、原案のとおり認定しました。

各会計決算の質疑応答

★一般会計★

〔歳入〕

固定資産税

〔4億9,346万円〕 増額の要因について伺う。

住民課長 不動産の差押え、競売の配当による滞納充当額が多かったことが要因です。

たばこ税

〔6,287万円〕 前年より増加した理由を伺う。

住民課長 前年対比で約50万本増えています。町民が買っている他に、インバウンドも含めて観光客の流入が増えていることが要因と思われる。

ごみ焼却施設維持管理費 〔1,706万円〕 当初予算より減額となった要因を伺う。

川村委員 当初予算より減額となった要因を伺う。

住民課長 焼却処理施設のメンテナンスのため、

焼却停止期間が当初予定よりも長期間あり、網走市からの搬入量が減少しました。

エキノコックス感染状況調査事業補助金 〔30万円〕

大泉委員 エキノコックスの状況を伺う。

住民課長 動物用ベイト、駆除剤の入ったエサを年5回散布しています。散布する前は40%ほどあった陽性率が、令和4年度の10月の検査結果では2.3%となり、エキノコックスを保有しているキツネ、媒介動物が少なくなってきています。

ヒグマ農業被害防止試験事業補助金 〔60万円〕

森賀委員 事業内容を伺う。

産業課参事 地域づくり総合交付金から60万円充当しています。広域財団法人知床財団に委託をし、電気柵を東藻琴の畑に設置しています。委託の内容については、電



設置した電気柵

気柵の設置、撤去、管理費、試験結果をもとに講演会を実施しています。

立木売却代

〔676万円〕

鈴木委員 当初予算より増額となっているが、計画的な売却であったのか伺う。

産業課参事 当初予算額よりも、売却価格が入れによって上がりました。円安の影響や輸入材が入ってこないことから国内の木が高騰していることが要因です。

森賀委員 売却した内容を伺う。

総務課長 公用自動車の更新による売却、鉄くずを売却しています。公用自動車について、除雪トラックを1台売却し、

242万円となっています。

一般寄附金

〔1億5,050万円〕

川村委員 減額となった要因を伺う。

産業課参事 前年度よりも高額の寄附が減少したこと、令和5年度から中間事業者を変更した関係で、各ポータルサイトの受付を3月下旬から4月下旬の約1カ月間一時的に停止をしていたことが要因として考えられます。

企業版ふるさと納税

〔150万円〕

後藤委員 企業版ふるさと納税の制度、用途、件数について伺う。

産業課参事 地方公共団体の地方創生の取り組みに対して、企業が行った場合に法人関係税から税額控除する制度です。株式会社セコマから50万円とホクレン農業協同組合連合会から100万円の2件寄附をいただいています。寄附金は、ふるさと教育チャーター事業と高校の魅力化推進事業に活用しています。



ふるさと教育チャーター事業

職員研修事業

〔161万円〕

森賀委員 研修の参加基準、職員が希望した研修を受けることが出来るのか伺う。

総務課長 新規採用職員が受講する初任者研修、中堅職員を対象とした研修、管理環境研修など経験年数などに応じて段階的に行っています。さらには職員が希望した場合、地域の課題解決や政策立案するための自主研修活動を行う制度を設けています。

住替え促進事業 〔659万円〕

齋藤委員 事業の実態、内容について伺う。

移住・定住支援室長 空き

★総括質疑★

財政運営について

鈴木委員 町の予算を組む上で、財源対策をどの様に考えているのか伺う。

町長

どう財源を見つけていくかは重要な課題です。デジタル田園都市国家構想交付金など国の事業を有効に活用したり、ふるさと応援寄附金や企業版ふるさと納税など、さまざまな財源確保に取り組んでいきたいと考えています。

水源について

齋藤委員 水道について、東藻琴の美味しい水を女満別でも飲めるよう事業を考えて欲しい。

町長

東藻琴の水源地は、東藻琴地区と網走市が使用しています。網走市に向かっていてる水源を女満別地区で利用できないかという調査をしています。出来るだけ早い時期に、大空町民皆が美味しい水を飲める環境を整備していきたいと考えています。



事業中の女満別川

水産振興事業

〔220万円〕

川村委員 調査内容について伺う。

産業課長 シジミ、白魚などの異臭等の発生状況等調査研究を進めています。シジミについては、産卵が思わしくない状況が続いており、人口種苗を生産し、播きつけする技術の確立に向けた試験などを実施しています。

災害対策事務費

〔1億751万円〕

鈴木委員 防災マップは、水害を想定したものとなっており、地震、吹雪、水道の断水、停電等の災害についての考えを伺う。

総務課参事

地震で液状化現象が発生しやすい所や、吹雪で通行止めが予測される危険箇所のマップなど、他の自治体の情報なども見ながら検討

体育施設一般管理費

〔2,534万円〕

福田委員 体育施設の管理の内訳を伺う。

生涯学習課参事

体育に関わる公用車の車両の管理や、東藻琴の公園の芝の管理委託約900万円、駅前のパークゴルフ場の芝の管理委託約900万円などとなっています。

したいと考えています。**生涯学習課長** 町外からの移住・定住を促進し、奨学金を利用して進学した方が地元に戻って来やすい環境を整える為に奨学金の返還を補助することを目的に実施しています。広報、ホームページより周知をしています。実績については、令和2年度が4名、令和3年度が6名、令和4年度が9名と、徐々に浸透してきており、移住・定住の促進に一定の効果があると考えています。

奨学金返済支援事業

〔123万円〕

鈴木委員 事業効果と制度の周知、対応の方法の評価について見解を伺う。

生涯学習課長

町外からの移住・定住を促進し、奨学金を利用して進学した方が地元に戻って来やすい環境を整える為に奨学金の返還を補助することを目的に実施しています。広報、ホームページより周知をしています。実績については、令和2年度が4名、令和3年度が6名、令和4年度が9名と、徐々に浸透してきており、移住・定住の促進に一定の効果があると考えています。

体育施設一般管理費

〔2,534万円〕

福田委員 体育施設の管理の内訳を伺う。

生涯学習課参事

体育に関わる公用車の車両の管理や、東藻琴の公園の芝の管理委託約900万円、駅前のパークゴルフ場の芝の管理委託約900万円などとなっています。

家登録した住宅に対して、空き家を利用したい方のマッチングをする事業です。現在、空き家登録が令和4年度末で30件あり、令和4年度については13件のマッチングがありました。

地域職業紹介事業

〔125万円〕

齋藤委員 事業内容と利用状況について伺う。

移住・定住支援室長

無料職業紹介所、通称大空ワークを開設しています。令和2年5月から現在まで25社、求人数50件、総求人数が92名となっています。

農業アルバイトの紹介事業も行っており、令和4年度については求人数が581名、紹介者数が384名となっています。

交通安全対策費

〔205万円〕

鈴木委員 高齢者運転免許自主返納の実績を伺う。

住民課長

40件の返納がありました。

高齢者等移動支援事業

〔978万円〕

森賀委員 福祉タクシー券と外出支援タクシーの利用率が低い様に感じるが、検討していることがあれば伺う。

福祉課長

外出支援タクシー券の利用率が27.6%となっています。令和元年度以前に比べると徐々に普及率は上がっていますが、二種類の券を交付していることについて、改善の余地があり、職員の中で検討を進めています。女満別地区と東藻琴地区の利用率の差があることも課題です。

緊急通報システム設置事業

〔235万円〕

鈴木委員 システムが活用された件数を伺う。

福祉課参事

消防が出动した件数は12件あり、うち救急搬送されたケースは8件です。

健康増進事業

〔899万円〕

鈴木委員 健診受診率向上に向けての対策を伺う。

福祉課参事

大空町のがん検診受診率は全国平均

令和5年8月16日から18日

議会広報常任委員会行政視察報告

委員長 鈴木 秀之

～議員主体の広報作成、
議会広報の編集ポイント、
色の見え方の多様性について視察～



鷹栖町議会 ～マニフェスト大賞優秀コミュニケーション戦略賞を受賞された議会広報等の取組み～

鷹栖町議会では、議員が主体となり議会広報やチラシの作成を行い、チラシの内容も電車の中吊り広告風にするなど町民の興味関心を引くことを主眼に置き編集しています。

掲載原稿の構成、一般質問ページの割付などは議員が自ら行うこと等「議会報編集方針」を策定し、議会広報を通じ継続的に議員主体で「開かれた議会」を目指す姿勢を明確にされていました。

議会広報編集の基本姿勢の継続性と改善の実績継続を確保するためにも、本町議会でも「議会だより編集方針」作成を検討していく必要があると感じました。



議会広報研修会 ～伝わる議会報の編集のポイント～

一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザー 金井 茂樹氏より議会広報作成の枠組み、読者を意識した編集、情報の構造化、情報の表現などの講義を受けました。

特に印象に残ったことは、情報の構造化の部分で、わかりやすい構造での、見出しとリード文の関係を予測情報として整理しておくことが読者の理解しやすさにつながると説明を受けたことです。

また、表の掲載において、外枠野線より中野線をうすい野線にすると表内の文字や数字の視認性が高まるとの説明がありました。

実際に自治体広報に携わっていた経験に基づく講義を受け、今後の広報編集作業に参考となりました。



北海道カラーユニバーサルデザイン機構 ～見る人にやさしい色使いの広報作成～

栗田 正樹 副理事長より、色の見え方の多様性について講義を受けました。

色覚に関する研究が進み、人間の持つ色センサーは、人類の進化の過程で獲得されたもので、色覚にはC、P、D、T型の4つの見え方があり、色覚の型で一番多いのは、C型だが、日本人男性は20人に1人、女性は500人に1人の割合で一般的に色弱型といわれていたP型、D型、T型が存在するのが人類の特性であると認識されているとのことでした。

色の見え方・色覚は、個々の個性としてとらえるべきとの見解が一般化しており、2018年4月から「カラーユニバーサルデザイン」という誰にでも見やすい色とデザインを使うことが社会的に推進されていること等の講義内容でした。

色覚の個人差を問わずに見やすい色使いをして広報を作成していく必要があると改めて認識しました。



「行政視察調査を終えての所感」

議会だよりに関心を持ってもらうための工夫を今後も研究しなければならないと感じました。議会広報モニターの方々と意見交換を重ねて、読者の意向や要望を紙面づくりに活かしていきたいと思えます。

令和5年8月29日から31日

総務厚生常任委員会行政視察報告

委員長 三條 幸夫

～障がい者福祉、認定こども園、
複合施設の取組みについて視察～



老後の生活を想定した取り組みの説明を受ける

古平町 ～古平福祉会 障がい者福祉～

古平福祉会は「福祉サービス利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう総合的に支援することを目的に様々な福祉事業を行う」として昭和56年に設立され、知的障がい者自立、就労を伴う社会自立「施設を出て地域で暮らす」を実現しており、就職して地域で生活を続けてきた知的障がい者はおよそ280人と説明を受けました。

また23年前から介護保険事業にも参入し、施設を利用している障がい者の高齢化と老後の生活を想定した取り組みが行われていました。

厚沢部町 ～認定こども園はげる 保育園留学の取組み～

認定こども園はげるは、町内3保育園を総合し平成31年に開園しました。若年層の人口流出が課題となるなか、子育て世代の定住、移住につなげたいとの想いを込めて設計されました。

保育園留学は、地域と子育て家族をつなぐ留学プログラムです。子どもが保育園に通いながら、家族で地域に滞在できる暮らし体験です。

開始から4ヶ月の2023年4月現在、100世帯以上から申し込みがあり、キャンセル待ちが多くいる状態となっています。1～2週間単位で、常に数世帯が厚沢部町に滞在する予定になっています。

町の子どもたちにとっても刺激的な経験となっており、町を活性化し、住民の幸福度を高め、過疎に対する一つの解決策と説明を受けました。



認定こども園はげるの園庭にて



ゆうぱりっこひろば

夕張市 ～拠点複合施設りすた～

施設整備に至った背景、施設のコンセプト・ターゲット、維持管理体制等、更なる賑わい創出への今後の展開、活用状況、現状における課題と今後の対応について説明を受けました。

施設には教育委員会、生活福祉課、図書館、多目的ホール、多目的室3部屋、展示ギャラリー、待合交流スペース、ゆうぱりっこひろば等が配置され、市内中心地である清水沢地区への生活利便機能の集積による都市拠点化と、その他地区のコンパクト化を段階的に進め、将来の都市構造の形成を目指していると説明を受けました。

施設の基本構想の検討にあたっては、市民、議会、職員による検討チームで計画検討し、ワークショップでは196件の意見が出されました。

美唄市 ～北海道光生会 障がい者福祉～

北海道光生会は、福祉型障がい児入所施設、障がい者支援施設、障がい福祉サービス事業所等の運営を行っています。

生命の尊厳、個人の尊重、人権の擁護、社会への参加、専門的な支援とサービス提供の基本方針や3歳から92歳の延べ約810名の利用者との関わりを持っていることの説明を受けました。

清掃業務や農業関連の作業所の一部を見学させていただき黙々と笑顔で働く姿を目にすることが出来ました。



作業所での農作物の調整の様子

「行政視察調査を終えての所感」

今回の視察調査を通じて得た知識等を踏まえ、今後の大空町の課題解決と住民生活の安定化に向けて、住民皆さんの声を聴き、町づくりに反映できるように、努力してまいります。

Voice 声 町民の

4年ぶりの開催 第12回大鵬杯 相撲大会を終えて



吉田 太一さん
(一般社団法人 大空町青少年育成協会
おおぞらすもうクラブ 監督)
TEL0152-77-9101

今年度5月より新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、全国各地においてすべてのスポーツ競技が従来どおりに開催され活気を取り戻してきています。ここ数年のコロナ禍により様々な活動が制限されました。相撲競技においても例外ではなく苦しい数年を過ごしてきました。

4年ぶりの開催となりました第12回大鵬杯相撲大会、コロナ禍以前は参加者が100名前後でした。今大会は40名弱の参加者でしたが、非常に盛り上がった大会になりました。相撲競技は一瞬で勝敗が決まる競技です。ルールとしては、土俵から出てはいけな。足の裏以外が地面と接触したら負け。細かなことはありますが、上記2点だ

けを意識し全身の力を思う存分発揮できる競技です。勝ったら喜び、負けたら悔し泣く。心も体も表現できる最高の競技だと私は思っています。

おおぞらすもうクラブでは、随時クラブ生を募集しています。興味のある方は見学に来てください。月曜日18時30分～大鵬道場で稽古しています。

今後、相撲が魅力あるものにしていかなければと思っています。多くの関係者と協力し合い、競技人口の増加に取り組むとともに、相撲を通じた人間教育などに努めていくことが大事ではないかと思ひます。相撲道を通して日本の思いやりの精神を伝え育んでまいります。

なつかしの校舎



東藻琴 新富小学校

新富地区は、昭和25年、広島県から5戸と道内から7戸の計12戸が入植。市街地区への約8キロの開拓道路は、未整備で熊の出没、冬期の積雪・吹雪等の交通障害のため児童の通学は困難を極めました。昭和26年学校設置要望が高まり、会館を仮校舎とした「新富開拓塾」が東藻琴小学校の分校として開設されました。児童数9名からのスタートでした。

昭和34年新富小学校になりましたが、昭和40年、通学路が整備されたことと児童数減少に伴い東藻琴小学校へ統合になりました。卒業児童数は、28名でした。

(参考文献：東藻琴村誌 東藻琴小学校開校百周年記念誌)

深呼吸したくなる家。
WB HOUSE

網走郡大空町女満別西3条1丁目3番4号
株式会社 河西組 TEL:0152-74-2105

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

今回の広報委員会の研修会で私が一番印象に残ったのは、CUD(カラーユニバーサルデザイン)の栗田正樹先生のお話でした。色弱の人の見え方について色々とお聞きしました。物の色とは人の脳で判断して認識するものであり、障害ではないということ。人間が進化の過程で一度捨ててしまった能力を環境の変化で再度必要となつて獲得したもので、個人間で能力の差が大きいのであって個性ととらえる方が自然であり、血液型と同じように人によって違いがあり型によって人数の割合が違うだけととらえて欲しいとのことでした。そう考えると障害とは何なのだろう、多様性と言い換えると他人を尊重、理解することが大切だと考えさせられました。(森賀)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願ひいたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第70号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

